

令和7年3月11日

摂津市立味舌小学校

校長 奥野 友紀

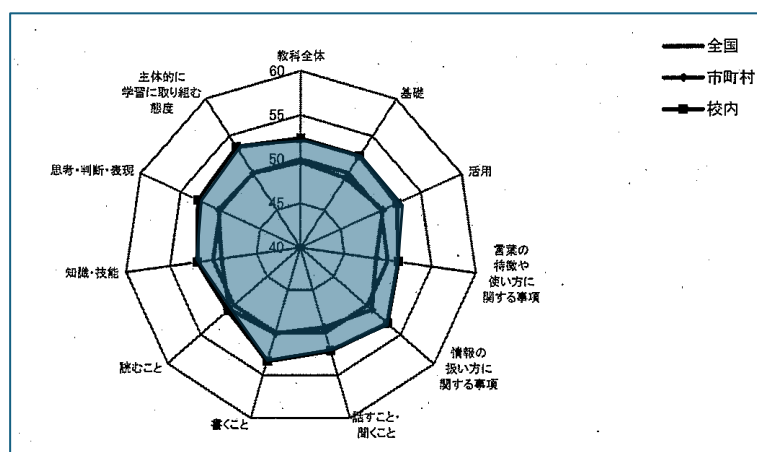
令和6年度摂津市学力定着度調査の結果から

1. 学校全体の結果概要

学年・教科での差はありますが、全教科（国語・算数・理科）が全国平均と大きく変わることなく、おおむね良好な状況です。

2. 3年生の結果分析

《国語》



【成果】

- ・ 説明文の読解については、全問で正答率が全国比を上回りました(2.9～10.2 点↑)。
- ・ 記述式の回答率が高く、特に作文については全国値を大幅に上回りました。

【成果の要因】

- ・ 国語で学んだことを活かして、図鑑や新聞づくり、レポート、振り返り等の言語活動を全教科において行いました。また、言語活動を行う際には、条件をつけて行ったことで、文章を書く力が付いたと考えられます。

【課題】

- ・ 2年生の漢字の書きとりについては、習熟が不十分な結果となりました。
- ・ 物語文の読み取りについては、一部課題が残りました。

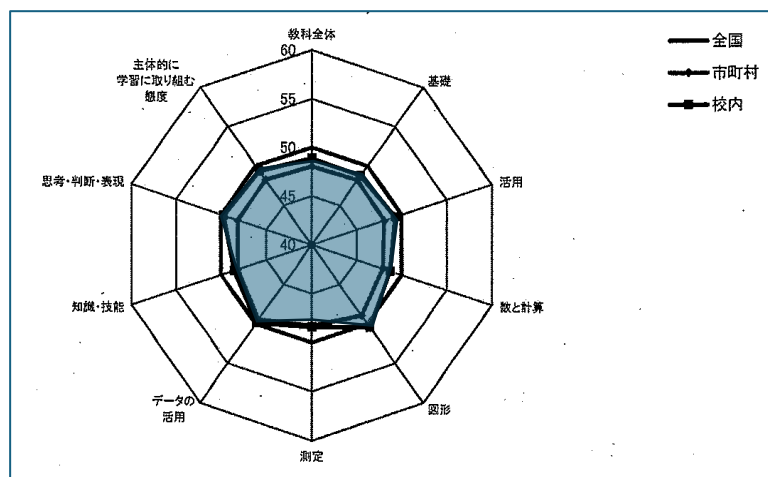
【課題の要因】

- ・ ノートや作文の中で、既習の漢字を使うように指導することが十分ではありませんでした。

【今後の取組み】

- ・ 漢字に親しむ学習活動（漢字の成り立ちの学習、漢字かるた等）を取り入れ、漢字に親しみながら習熟を図っていきます。

《算数》



【成果】

- ・棒グラフの読み取りの正答率が全国値より高い結果となりました。
- ・「円と球」内容はよく理解できています。

【成果の要因】

- ・理科や社会で具体的な数値を読み取りを積極的に行い、活用力を養いました。
- ・球の学習では、具体物を使って学習をしたことが理解につながりました。

【課題】

- ・大きな数の問題において、数の相対的な大きさについて理解が十分ではありません。

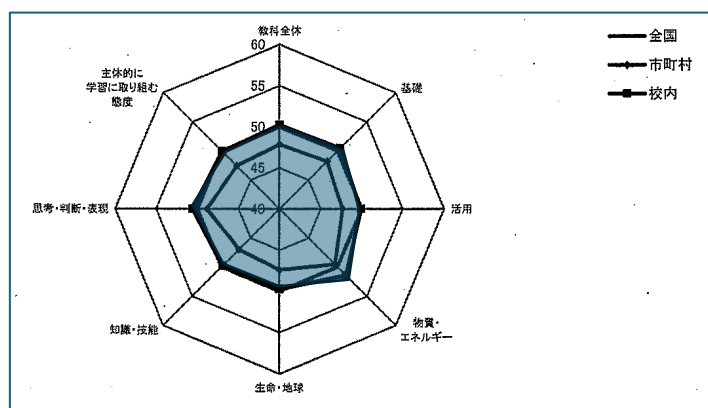
【課題の要因】

- ・算数の授業始めに復習（5分プリントなど）を行っていますが、十分ではありませんでした。

【今後の取組み】

- ・単元ごとの復習プリントを授業ごとに行い、定着を図っていきます。

《理科》



【成果】

- ・植物や昆虫については理解できています。

【成果の要因】

- ・実際に観察・実験するなど、体験を通して理解が深まったと考えられます。

【課題】

- ・風とゴムのはたらきにおける、推測や分析する力に課題が見られます。

【課題の要因】

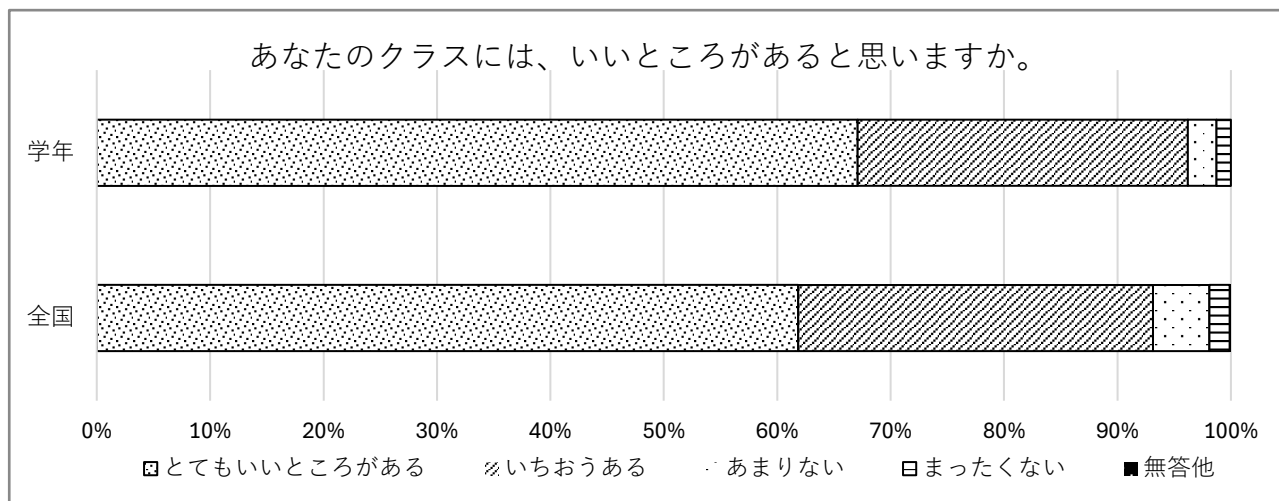
- ・問題を読み取ることが難しかったようです。

【今後の取組み】

- ・今後も、実験や観察など、実際に体験する活動を大切にします。
- ・実験を行う際、課題意識を持って問題解決に取り組む授業展開を行っていきます。

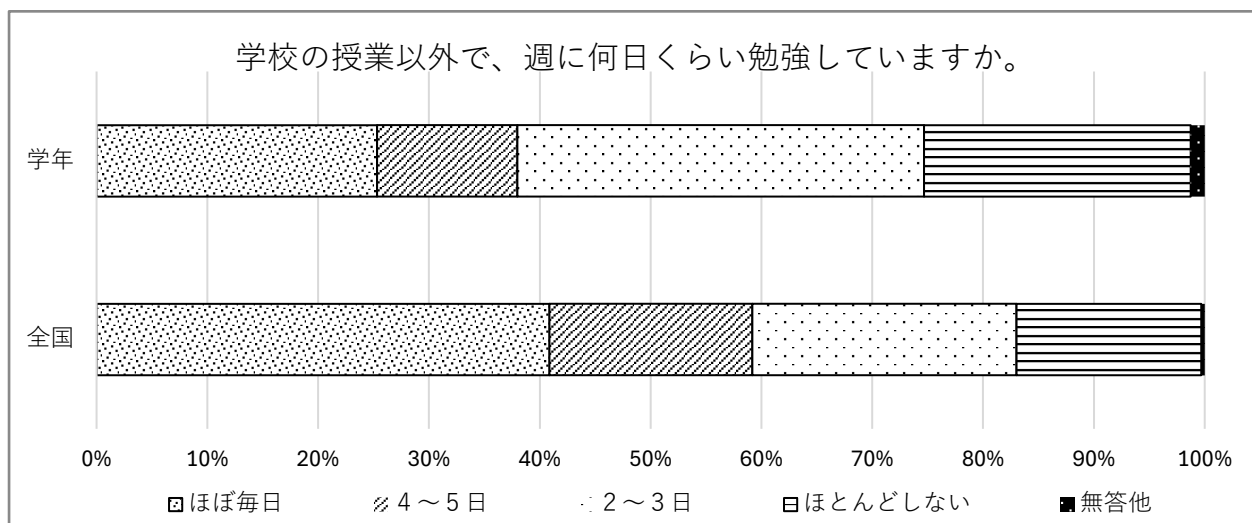
《i-check》

* 肯定的回答が多かった項目



授業、特に総合の学習の中で、色々な人と関わることや、グループ活動を多く取り入れました。活動を通して安心して意見を言い合える関係性や風土ができ、互いの持ちあじや良さを認め合うことにつながったと考えます。

* 改善が必要と思われる項目



宿題以外の家庭学習については、毎週末にチャレスタに取り組んでいますが、それ以外の日に取り組む児童は少ない状況です。宿題以外で自分の課題を見つけ、すすんで学習に取り組む経験を大切にしていきます。